

# 重度重複障害児の社会参画を目指した自立活動の充実

—社会へとつながる実態把握表とチェックシートの活用を通して—

長期研修員 林 圭佐

## 課題



### 国・県の課題

- 重度重複障害児の自立活動の充実
- 重度重複障害児教育の専門性向上
- キャリア教育の推進及び関係機関との連携・協力

### 研究協力校の課題

- 重度重複障害児の増加・多様化
- 発達段階を捉える教員の専門性向上
- 限られた時間で社会への出口教育

卒業後の生活で、人との関わりの中で充実した時間を過ごしてほしいな

## 学校の視点に社会の視点を加えた自立活動をしよう!

手立て1  
アンケート  
調査で学校と  
社会の視点を  
つかむ



研究協力校職員と県内（中部・西部）の重度重複障害者対応の生活介護施設に、  
人と関わる力の育成についてアンケート調査を実施し、分析



誰とも関わることができ  
たり、急な予定の変更に  
できたりするといいですね

学校の視点を分析



自分と他者を認知すること、  
そして周りの環境が変化す  
ることが分かるといいですね

生活介護施設の視点を分析

学校と社会の視点の共通点や新しい視点が分かった!どんな姿を目指せばいいか確信がもてた!

手立て2  
実態把握表を  
活用し個別に  
カスタマイズ



学校と社会の両方の視点から自立活動（人間関係の形成・環境の把握）の2区分9項目に  
おける目指す姿（ねらい）を段階的に細分化した実態把握表を作成

実態把握表

1	人と関わる力を育成する	人と関わる力を育成する	人と関わる力を育成する
2	人と関わる力を育成する	人と関わる力を育成する	人と関わる力を育成する
3	人と関わる力を育成する	人と関わる力を育成する	人と関わる力を育成する
4	人と関わる力を育成する	人と関わる力を育成する	人と関わる力を育成する
5	人と関わる力を育成する	人と関わる力を育成する	人と関わる力を育成する
6	人と関わる力を育成する	人と関わる力を育成する	人と関わる力を育成する
7	人と関わる力を育成する	人と関わる力を育成する	人と関わる力を育成する
8	人と関わる力を育成する	人と関わる力を育成する	人と関わる力を育成する
9	人と関わる力を育成する	人と関わる力を育成する	人と関わる力を育成する

178項目から生徒に応じて抽出

おもちゃやタブレット等で一人で活動（一人遊び）をすることができる  
一人で何もしないで落ち着いて過ごすことができる  
集団活動に落ち着いて参加することができる  
集団活動で教師に促されて、友達の様子などに視線を向けることができる  
距離を保つことができる  
順番を待つことができる  
人から怒られても拒まない  
速さや揺れ、回転などの刺激に対する反応を示す  
様々な音や声に対して身体表現（手や顔の動き、表情等）で反応を示す

実態把握表から生徒に応じた項目を選んで個別にカスタマイズした表を作成!

チェックシートに反映

チェック  
シートを  
使って  
授業実践!



個に応じた力の育成を目指し、人間関係の形成と環境の把握をねらいにした自立活動を実施

<チェックシートの活用>

- ①指導時に授業のねらいが明確に!
- ②授業後の評価をスクリーンショットで保存し、単元を通しての評価の蓄積が可能に!

チェックシート

人間関係の形成	自己の理解や行動の調整	予定が変更になっても、気持ちを乱さずに変更を受け止めることができる	
人間関係の形成	自己の理解や行動の調整	自分の願いが叶わなかったときに、受け止めることができる	○
活動内容	歩行器での活動		○
手立て	写真カードやタブレットなどを用いて、予定の変更を伝える		○

ねらいを確認・評価して、目指す姿の変容が見取りやすくなった!

## 目指す姿



先生や友達との  
やり取りを楽しむ



いろいろな場所に視線を向けて  
興味・関心の幅が広がっていく

自立活動で、人との関わり方の充実につながる力の育成を図ることができた!

## 社会へとつながる力の育成

# 実態把握表とチェックシートの活用方法（Cさんの例）

## 1. 実態把握表（178項目）からCさん用にカスタマイズした表（40項目）

1	提示された物に対して手を伸ばすことができる。	<input checked="" type="checkbox"/>
2	提示された物を触ることができる。	<input checked="" type="checkbox"/>
3	提示された物を掴むことができる。	<input checked="" type="checkbox"/>
4	タブレットやスイッチを触ると、何らかの動作が起きることを理解し、自分から触れることができる。	<input type="checkbox"/>
5	掴んだものを触ったまま・掴んだまま動かすことができる。	<input type="checkbox"/>
6	操作している物を注視することができる。	<input checked="" type="checkbox"/>
7	操作している物を追視することができる。	<input checked="" type="checkbox"/>
8	操作している物に視線を注視したり追視したりすることができる。	<input checked="" type="checkbox"/>

### <実態>

○人や物への注視・追視が難しい  
○顔が下を向いていることが多く、意思表示が伝わりにくい、使いたい物に手を伸ばす



### <一年間で付けたい力>

○人や物を注視・追視することができる  
○自分の思いを視線や身体表現で伝えることができる

定着している「2 提示された物を触ることができる」を規準として、実態を踏まえて育てたいねらいを検討し、「8 操作しているものを注視・追視」を自立活動で達成する目標として選択するぞ！

## 2. カスタマイズした表を基に単元目標設定及び単元構想

環境の把握	提示された物を触ることができる
環境の把握	提示された物を掴むことができる
環境の把握	掴んだものを触ったまま・掴んだまま動かすことができる
環境の把握	操作している物を注視することができる。
環境の把握	操作している物を追視することができる。
環境の把握	操作している物に視線を注視したり追視したりすることができる。
環境の把握	自分の好きな物を選ぶことができる
環境の把握	自分が欲しいものが置いてある場所がわかり、働きかけをすることができる
把握	様々な音や声に対して何らかの方法で反応を示す
把握	手や顔、身体各部分に人や物が触れると、何らかの方法で反応を示す
把握	2つの具体物を選択肢として提示して、比較し、選ぶことができる
把握	3つ以上の具体物を選択肢として提示して、比較し、選ぶことができる

### 目と手の協応を図る教材操作の単元を設定



### 設定したねらい

### Cさんの活動

ねらいが段階的によく分かるぞ！操作している物を注視・追視の目標を達成するために、二択・三択する目標と組み合わせで学習活動を設定しよう！

## 3. チェックシートで各時のねらい設定&振り返り



まずは、現在定着していることを1時間目のねらいに設定。達成できたらねらいの段階をスモールステップで上げて、6時間目までのねらいを達成していこう。

スモールステップ

### 時間

- 1 提示された物を触ることができる
- 2 提示された物を掴むことができる
- 3 2つの具体物を選択肢として提示して、比較し、選ぶことができる
- 4 2つの具体物を選択肢として提示して、比較し、選ぶことができる
- 5 3つ以上の具体物を選択肢として提示して、比較し、選ぶことができる
- 6 3つ以上の具体物を選択肢として提示して、比較し、選ぶことができる

- 提示された好きなおもちゃに触る
- やりたいと思ったおもちゃをつかんで引き寄せる
- 同時に提示された二つのおもちゃを注視して一つをつかむ
- 交互に提示された二つのおもちゃを注視して一つをつかむ
- 順に提示された三つのおもちゃを注視して一つをつかむ
- 並んでいる四つのおもちゃを見比べて一つをつかむ

### <Cさんの成長した姿>

複数の物を注視・追視をして、自分の好きな物を選び、操作することができた

### <成果>

アンケートの分析結果を基に作成した実態把握表を活用して、個に応じたねらいや活動の設定をすることで、人と関わる力を育てる自立活動を充実させることができた。

### <課題>

実態把握表の妥当性について継続的に検証し、改訂し続けていく必要がある。

### <提言>

目指す生徒の姿の指標となる実態把握表と、負担感がなく使えるチェックシートを活用して、自立活動を充実させて、重度重複障害児が社会へとつながる力の育成を図っていきましょう！